

令和元年度 第1回市政モニターアンケート集計結果

「富士宮市の農業」について

趣 旨 富士宮市では、地産地消(富士宮で生産した農産物を富士宮で消費すること)を推進しています。今回、富士宮市民の農業に対する意識や消費者としての意識を伺うため、このアンケートを行います。

実施日 令和元年6月14日(金)～6月25日(金)

対象者 市政モニター50人(任期:H31.4.1～R2.3.31)

回答率 47人/50人(94%)

※質問の趣旨に沿わない回答については集計結果には反映していません。

市政モニターの内訳

1 男女別		
	人数(人)	構成比
男	24	48%
女	26	52%
合 計	50	100%

2 年代別		
	人数(人)	構成比
10代	3	6%
20代	6	12%
30代	7	14%
40代	9	18%
50代	7	14%
60代	9	18%
70代以上	9	18%
合 計	50	100%

3 地域別		
	人数(人)	構成比
大宮中地区	4	8%
大宮西地区	4	8%
大宮東地区	8	16%
富丘地区	9	18%
富士根地区	11	22%
北部地区	7	14%
芝川地区	2	4%
大富士	5	10%
合 計	50	100%

4 職業別		
	人数(人)	構成比
会社員	19	38%
自営業	2	4%
学生	4	8%
専業主婦・主夫	10	20%
パート・アルバイト	7	14%
無職	7	14%
その他	1	2%
合 計	50	100%

富士宮市 情報発信課 広聴広報係
 電話:0544-22-1119 FAX:0544-22-1206
 Eメール:koho@city.fujinomiya.lg.jp

はじめに、「富士宮市の農業」について伺います。

●全員に伺います。

問1 富士宮市内で「野菜や果物の生産」は盛んに行われていると思いますか。
(あなたの考えに最も近いもの一つ)

選択項目	回答数	構成比
1 盛んに生産されていると思う	15	31.9%
2 ある程度は生産されていると思う	26	55.3%
3 あまり生産されていないと思う	6	12.8%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	2	3	4	2	4	0	15
2	2	3	4	2	4	3	8	26
3	0	1	0	2	1	1	1	6
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問1-2 問1で答えた理由を教えてください。(自由記述)

回答	理由	年代性別
1	スーパーなどで富士宮産の野菜をよく見かけるから。	20代男性
1	レストランやスーパーで良く見かけるから。	20代男性
1	以前栃木や三重などに住んでいましたが、それらと比べても直売所などの数も多いように感じるため。	30代男性
1	うみやーなや農市場でよくみるから。	30代女性
1	田畑を多く目にするため。また、大きな直売所もあるため。	30代女性
1	う宮～なは有名ですが、それ以外にも昔より盛んになってるというか、アピールできていて表に出てきていると思う。	40代男性
1	スーパーマーケットの店頭で地場野菜コーナーが設置されているのを目にした。学校給食でも富士宮産の野菜を使用していますとの言葉が書かれています。	40代女性
1	外神にある、販売所うみやーなに行くと生産者さんの名前が表記してある野菜が毎日たくさん出荷されているので。	40代女性
1	都内で富士宮産と有名なものがあつたから。	40代女性
1	農作物の収穫の種類が多いので農業が盛んである。	50代男性
1	市内には畑が多く、またJAの直売所や野菜の無人販売所も市内各地に数多くあるので。	50代女性
1	ミニトマトをよく食べる、梅狩りに行く、タケノコをもらったり買ったりする。	60代男性
1	JAう宮～なは、私も時に利用するが大変な賑わい。山梨、長野の友人が来る際は、必ず立ち寄る場所がう宮～なということも頷ける。	60代男性
1	路の端の各所で売られていたり「う宮～な」や農市場で毎日採りたて野菜や果物を販売している。	60代女性
1	地域のスーパーやう宮～な等で地域の生産者の方々の野菜等が増えていると思う。	60代女性
2	果物などはよく売られているから。	10代女性
2	給食で朝霧牛乳が出ていた。もっと富士宮産をアピールしてくれれば身近に感じると思う。	10代女性
2	田畑が多いから。	20代男性
2	野中朝市や大富士の農市場で売っているからです。	20代女性
2	農家は多い方だと思うが年々、後継者不足で畑の規模を小さくしたり辞めてしまい出荷しないケースが多くなっている気がする。そのため、農協にはある程度の地元の野菜や果物はあるが盛んだとは言い難いように感じる。	20代女性
2	名産物と言われるものがわからないので、その程度だと思う。	30代男性
2	テレビ、広報誌等で見かけたことがあるから。	30代男性
2	JAの農産物直売所をはじめ、何か所か直売所があり、週末はよく人が入っているから。	30代女性
2	ファーマーズマーケットでは地域で作られた野菜をみるが、スーパーではあまりみかけないから。	30代女性
2	高齢者が増えたことで、定年後に農業を始める人が増えた。	40代男性
2	あまりPRされていないので生産しているとは思いますがピンとこないです。	40代女性
2	特産品の様に有名な物は無いが、スーパーでの地産品や農協による販売、家庭販売(無人販売)などをよく目にするから。	50代男性

2	スーパーでも地場の物が置かれている。 鮮度がいいので、地場の朝どりの物などは、あると嬉しい。	50代女性
2	スーパー等で、あまり見かけないので。富士宮&地元のコーナーで少しは置いてあるのですが…。	50代女性
2	野菜については、地産のものがスーパー以外でもう宮一な、農民市場、お茶屋さんの店先、無人販売所など増えていることもあり、新鮮なものを購入し、消費できていると思いますが、果物については、少ないかと思います。気が付かないだけかもしれませんが。	50代女性
2	うみゃーなの盛況ぶりを見るとそう思う。	60代男性
2	市内北部地区では従事者が多いかと感じていて道の駅等で販売されてるのを目にしています。	60代男性
2	散歩で歩いていると、だいぶ畑があります。	60代男性
2	手間暇かけて野菜や果物を生産するより、スーパー等で購入したほうが楽で安価である。したがって、遊休農地が各所で見受けられる。	70代以上男性
2	根拠はなく、全くの感じですが。	70代以上男性
2	野菜は、畑でキャベツや落花生等の作っているのをよく見かけるし、スーパーでも地場産としてのコーナーを設けているところもあるので、ある程度生産されていると思う。果物はこれといったものが浮かばない。	70代以上男性
2	野菜については盛んに行われていると思います。ただ気候風土によると考えられますが、果物については限定されておりそれほどの感じですが。	70代以上男性
2	私は北部(村山)地区に住んでいますが周囲の畑を見る限り、荒地が多く野菜や果物等はあまり生産されていないと思います。原因は、やはり後継者がいなくなったことが原因だと思います。	70代以上男性
2	通勤やウオーキングの際通る道筋(淀師)では盛んに栽培されているのを見る。またJA道の駅う宮～なでは連日豊富な野菜類が持ち込まれている。食の情報発信・食育が盛ん。ただ市域全体を把握することは困難。	70代以上男性
2	—	70代以上女性
2	生活区域の田畑が宅地が変わっています。	70代以上女性
3	農協で売られているのは見かけるが、スーパーマーケットなどではあまり見かけない気がするから。	20代女性
3	富士宮市内で盛んに行われている「野菜や果物」はなんだと思いますか？と聞かれたら正直考えてしまいます。富士宮と言えば、富士宮焼きそば、ニジマス、のイメージが強いので。	40代女性
3	農民市場等で、販売されているけれど、盛んとは感じられません。	40代女性
3	スーパー等でほとんど富士宮産を見ないため。	50代男性
3	私的・公的を含めて色々なところをこれまで訪問してきました。茨木は豆/芋・千葉は落花生等々地元の方は農産物の具体名を出しますが私には「ザ・富士宮」の農産物は思い浮かばない。	60代男性
3	市内を写真撮影などで回ると、未耕作地や雑草で枯れ果てた田畑が多くみられる。また、農業を行っている人員が少ないと感じる。	70代以上男性

●全員に伺います。

問2 富士宮の「酪農や畜産」（牛乳の原料やお肉、卵等の生産）は盛んに行われていると思いますか。あなたの考えに最も近いもの一つ

選択項目	回答数	構成比
1 盛んに生産されていると思う	24	51.1%
2 ある程度は生産されていると思う	22	46.8%
3 あまり生産されていないと思う	1	2.1%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	3	5	5	5	3	2	24
2	1	3	2	3	2	5	6	22
3	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問2-2 問2で答えた理由を教えてください。（自由記述）

回答	理由	年代性別
1	朝霧高原の朝霧牛乳などが有名だから。	10代女性
1	朝霧を中心に酪農が盛んだと聞いているから。	20代男性
1	スーパーなどで牛乳をよく見かけるから。	20代男性
1	少し北上すれば酪農農家が多く見られるから。	20代男性
1	朝霧付近を中心に広大な土地を利用して行われている。	30代男性
1	元々沼津出身ですが、まかいの牧場や朝霧は子供の頃からよく来ていたので、酪農のイメージが強いです。	30代男性
1	朝霧ブランドで売り出している商品を見かけるし、観光地としても頑張っていると感じているため。	30代女性
1	あさぎりなどは有名だし高校でも酪農について学んだりできるから。	30代女性
1	牧場も多く、卵の無人販売所もみられるため。今まで山形、福島、京都、神奈川の市町村に住んだことがあります。卵の無人販売所はなかなか見かけませんでした。	30代女性
1	いでぼくやミルクランドばかりが有名ですが、生産という意味では上井出より上に行けば結構あると感じる。	40代男性
1	昨年度までは、学校給食で提供されていた牛乳は、他市から運ばれてきたものだったが、今年度より富士宮で生産された牛乳がそのままがっこうきゅうしょくでも提供されるようになったため。	40代女性
1	山宮には大きな卵の工場もでき、盛んに生産されていると思いました。	
1	ヨーグル豚など、富士宮ブランドのお肉もあり、あさぎりに行くとおいしい牛乳や、ソフトクリームも食べられるので。	40代女性
1	様々な場所で酪農・畜産品を目にするため。	40代女性
1	酪農や畜産に限っては、有名な物もあり、県外で見かけると盛んである事を感じられます。	40代女性
1	市域の北部に牧場が多いので乳製品等の畜産物の生産は盛んである。	50代男性
1	朝霧高原という酪農に向けた環境の中で、生産者が頑張ってくれていると思う。	50代女性
1	市の北部に牧場や養鶏場が多いから。	50代女性
1	朝霧乳業、いでぼく、土井ファーム等スーパーは勿論、富士・富士宮市内の色々な商業施設でもよく見かけるので。	50代女性
1	ヨーグル豚、牛乳、卵などPRもされており、盛んに生産されていると思いますが、販売されているお店がまだまだ少ないと思います。スーパーなどでも販売していただけたらもっと身近に感じられます。（マックスバリュなど）	50代女性
1	朝霧牛・ルイベ豚などのブランドが定着している、焼き肉店でも売られている。	60代男性
1	畜産製品。	60代男性
1	メディア等で、取り上げられています。	60代男性
1	朝霧高原地域や富士山の麓地区を中心に酪農や畜産が盛んだと思われませんが、安い海外製品の輸入や後継者問題などで、最近は勢いがなくなってきていると思います。	70代以上男性
1	広大な朝霧高原を控えているため。	70代以上女性
2	朝霧地区は有名だが、あとはピンとこない。	10代女性
2	朝霧高原である程度は生産されていると思うからです。	20代女性
2	朝霧高原の牛乳を使ったお菓子などを、市内外の観光地などでよく見かけるから。	20代女性
2	朝霧の方では、酪農・畜産は有名だが、農協以外のスーパーには富士宮産のものは少ないことから実際に他の地域に比べて盛んなのかわからないから。	20代女性
2	テレビ、広報誌等で見かけたことがあるから。	30代男性

2	問1と同様。また学校給食や幼稚園の給食でも取り入れられているから？	30代女性
2	朝霧地区の一部地域では盛んに生産されている。	40代男性
2	富士のくに牛乳 学校給食の牛乳ですよね。子供たちが牛乳おいしいんだよと話してくれて、私自身買って飲んでみました。おいしかったです。給食で出されているので、生産量が多いと思います。	40代女性
2	時々聞く 肉、ヨーグルトなど。	40代女性
2	ブランド名をよく耳にするから、ある程度の生産はあると思います。しかし、購入までは至らず。何処で販売しているのかも判らない。	50代男性
2	牛乳、ヨーグルト、豚肉。	50代男性
2	朝霧の乳業は有名だと思う。	60代男性
2	1、牛や豚はそれなりに名の通った肉がある。 2、朝霧などでの牛豚の生産や酪農がある。	60代男性
2	市内北部地区では従事者が多いかと感じていて道の駅等で販売されてるのを目にしています。	60代男性
2	酪農家がかかなり多いと思う。	60代女性
2	野菜に比べて 地域の生産品より他県や 他市の肉や牛乳を見かける事が多い気がします。	60代女性
2	規模が集約化され、零細酪農は淘汰されている。	70代以上男性
2	近くで目にするのではなく、「朝霧」をイメージするとこのような答えになった。	70代以上男性
2	朝霧や上井出の方で放牧されている牛をよく見掛けるし、ミルクランドもあるので「ある程度」という印象がある。ただし、富士宮市民の食を賄うだけのものがあるかは不明です。豚舎や鶏舎は見たことがない。	70代以上男性
2	市内の比較的には少ないと思うが、朝霧地区は土地も広いから多くみられるが、杉田地区を含め、他の地区では見られない。	70代以上男性
2	豊かな地域性があり、学校給食の牛乳の供給、大規模鶏舎による供給などを見聞きする。	70代以上男性
2	田畑等減っている気がする 北山・朝霧・粟倉等家畜が育てられている。	70代以上女性
3	正直言って私から見る限りあまり生産されていないような気がします。理由として、大きな(広大な)土地があったら、酪農家を志す若い働き手が少ないような気がします。	70代以上男性

●全員に伺います。

問3 「富士宮の食(食べ物)」と聞いて、思い浮かぶものはなんですか。(自由記述・複数可)

落花生、富士宮やきそば。	10代女性
焼きそば、牛乳。	10代女性
やきそば、ニジマス。	20代女性
牛乳。	20代男性
焼きそば。	20代男性
焼きそば、ニジマス。	20代男性
ニジマス、ワサビ、牛乳、富士宮やきそば。	20代女性
ニジマス、富士宮焼きそば。	20代女性
焼きそば。市民としては一般家庭の食(味)であり、さほど関心がない。	30代男性
やきそば、酪農。	30代男性
落花生、ニジマス。	30代男性
牛乳、アイス、精肉、ニジマス。	30代女性
焼きそば、落花生。	30代女性
焼きそば。引越してくるまでは焼きそば以外のイメージはありませんでした。	30代女性
牛乳、落花生、ます、雪解け水。	30代女性
焼きそば、ニジマス。	40代男性
焼きそば、しぐれやき、日本酒。	40代男性
富士宮焼きそば、ニジマス、小麦まんじゅう。	40代女性
富士宮焼きそば、お茶、ニジマス、イチゴ。	40代女性
やはり全国でも有名な富士宮焼きそばだと思います。ニジマスもおいしいですね。	40代女性
富士宮焼きそば、朝霧ヨーグル豚、朝霧牛乳、とうもろこし、卵。	40代女性
焼きそば、落花生。	40代女性
やきそば、アメラトマト。	40代女性
焼きそば、茹落花生、ヨーグル豚、ルイベ豚、虹鱒。	50代男性
焼きそば、ルイベ豚、朝霧牛乳。	50代男性
焼きそば。	50代男性
焼きそば、ニジマス、ヨーグル豚。	50代女性
富士宮焼きそば、ニジマス、ゆで落花生、切り干し芋、日本酒。	50代女性
焼きそば モツ煮 朝霧牛乳。	50代女性
焼きそば、お茶、バーベキュー、あさぎり牛乳、ヨーグル豚。	50代女性
焼きそば、マス料理。	60代男性
朝霧の牛肉、日本酒、昔聞いた、キャベツ野菜。	60代男性
焼きそば、ニジマス、落花生、イチゴ。	60代男性
富士宮焼そば・鱒。	60代男性
富士宮焼きそば、ニジマスの甘露煮、乳製品、畜産加工食品。	60代男性
焼きそば。	60代男性
乳製品(牛乳・バター・チーズ・アイスクリーム)、マス。	60代女性
緑茶、焼きそば。	60代女性
焼きそば、とにかく焼きそばが強烈で他はなかなか思い浮かばなかった。	70代以上男性
やきそば、マス。	70代以上男性
焼きそば、落花生、生姜、とうもろこし、マス。	70代以上男性
やきそば、四溝柿、落花生。	70代以上男性
なんといっても焼きそばだと思います。	70代以上男性
ヤキソバ麺、牛乳、鱒、キャベツ、白菜、トウモロコシ、トマト、ヨーグル豚、豆腐。	70代以上男性
さつまいも・じゃがいも・落花生・だいこん・とうもろこし・いちご・キャベツ。	70代以上女性
焼きそば、落花生。	70代以上女性

●全員に伺います。

問4 普段、農産物の購入（入手）先として最も多いものはどれですか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 大型ショッピングモール	7	14.9%
2 スーパーマーケット	31	66.0%
3 商店街などの専門店（八百屋、肉屋、魚屋等）	0	0.0%
4 農協（う宮～な）や農家の直売所	7	14.9%
5 自家栽培（家庭菜園）	2	4.3%
6 その他（具体的に）	0	0.0%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	2	0	2	1	1	0	7
2	1	3	5	4	5	6	7	31
3	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	1	2	1	1	1	1	7
5	0	0	0	1	0	0	1	2
6	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問4-2 問4で答えた購入（入手）先が最も多い理由を教えてください。（自由記述）

回答	理由	年代性別
1	イオンへ行けばいろんな物を購入できる。	10代女性
1	家に近いから。	20代男性
1	他にも色々売ってるから。	20代男性
1	一度で様々な物が揃う。	40代男性
1	営業時間が8時から22時までと長く仕事帰りに購入しやすい。	40代女性
1	自宅に近い。一ヶ所で買い物を終えられる。	50代男性
1	1、種類が豊富なためワンストップで購入可能。2、品質表示がシッカリしている。3、衛生的。4、商品に対する責任が明確。	60代男性
2	近いから。新鮮さ。	10代女性
2	自宅から近いから。	20代男性
2	自宅から近く、価格が安いから。	20代女性
2	スーパーなら食品以外の買い物も済ませることができるから。	20代女性
2	品揃えが豊富。	30代男性
2	一カ所で用事が済むため。	30代男性
2	産地、種類が豊富だから、また、若干のこだわりがあるから。	30代男性
2	夜や週末に買い物をするから。	30代女性
2	ポイントがつく、安い。	30代女性
2	手軽に購入することで、種類も豊富。	40代男性
2	他の買い物とまとめて購入することができるため。	40代女性
2	買い物が、一箇所で済んでしまう為。	40代女性
2	近所にあるから。	40代女性
2	近所で品揃えもあり便利なため。	50代男性
2	家から近いから。	50代男性
2	野菜、鮮魚、肉が安価であるので。	50代女性
2	全ての食材に拘りたいトコロですが、金銭的、時間的にも限られているので、ある程度揃えられる場所なので。	50代女性
2	移動手段が自転車なので、どうしても近くのスーパーに頼ってしまいますが、時には隣の市の八百屋、魚屋、肉屋が並んでいるお店で購入することもあります。農家の直売所やトマトが美味しいお宅の無人販売所で購入することもあります。無人と言ってもその場で収穫したものを購入しています。	50代女性
2	あるいて行ける距離にあり、ほぼすべての農作物が手に入るので便利。	60代男性
2	身近だから。	60代男性

2	車で出かけて立ちよる場所の最も多いところだから。	60代男性
2	簡単に購入できるし、値段も手頃なので、入手します。	60代男性
2	スーパーでの買い物は品数も多く値段も安いから。	60代女性
2	ほんとうは、う宮~のような地域生産者の方の品が多い店で買いたいけれど近くはないので 近隣のスーパーでの購入が多い。	60代女性
2	近隣に店舗があるため、種類が豊富に揃っているため。	70代以上男性
2	購入先は山宮の「野菜センター」もカウントできます。自宅に近いことが最大の理由。	70代以上男性
2	スーパーは種類が多く、料理のメニューを考えながら購入できる、う宮~なに行くのが遠い、農家の直売所が少なく、どこにあるのかも知らない。	70代以上男性
2	近くにあり徒歩で行けるから。比較的なんでもあり、用がたりるから。	70代以上男性
2	スーパー等では、目的の野菜等以外に日用品等が買い求められるからです。	70代以上男性
2	豊富であり、新鮮。品質管理が行き届いている。他の買い物と合わせて購入できる。JAやcoop宅配でも購入しているが、他の買い物と同時にというわけにはいかない。	70代以上男性
2	安価。	70代以上女性
4	小さい子供もいるので安心できる物を食べさせてあげたいからです。	20代女性
4	野菜などは新鮮で無農薬もあるから。	30代女性
4	新鮮な野菜を安く購入できるため。またスーパーで野菜を購入すると、梱包のゴミが多くるので。	30代女性
4	少量で売っていたりするから、お手頃価格で購入できる。新鮮さがある。いろんな種類のものがある。	40代女性
4	勤務先と自宅を結ぶ往路上に野菜の直売所と無人販売所が計6ヶ所あり、立ち寄りやすいから。安くて新鮮であると同時に、直売所の人から野菜の食べ方(調理方法)を教えてくださいるので、料理の幅が広がります。	50代女性
4	なるべく地元産を購入したいと思っています。	60代男性
4	新鮮で美味です。	70代以上女性
5	実家の父母、義理の父母、どちらも家庭菜園をしてるので季節の美味しい野菜をいただくことができます。	40代女性
5	自分の家で食べるものは、ほとんど作っている。農薬使用量は、ゼロであるため安全であり、栽培する楽しみがある。また、採りたてのものを食べられるので、とても美味しい。	70代以上男性

●全員に伺います。

購入（入手）する農産物の産地は、どの程度気にしていますか。（それぞれ当てはまるもの一つ）

問5 外国産ではなく、国内産のものであること

選択項目	回答数	構成比
1 かなり気にしている	26	55.3%
2 ある程度気にしている	19	40.4%
3 あまり気にしていない	2	4.3%
4 全く気にしていない	0	0.0%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	2	3	2	5	4	2	8	26
2	0	3	4	3	3	6	0	19
3	0	0	1	0	0	0	1	2
4	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問5-2 有名な産地のものであること

選択項目	回答数	構成比
1 かなり気にしている	1	2.1%
2 ある程度気にしている	24	51.1%
3 あまり気にしていない	19	40.4%
4 全く気にしていない	3	6.4%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	0	0	0	0	1	1
2	2	3	3	3	4	4	5	24
3	0	3	1	5	3	4	3	19
4	0	0	3	0	0	0	0	3
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問5-3 県内産であること

選択項目	回答数	構成比
1 かなり気にしている	4	8.5%
2 ある程度気にしている	17	36.2%
3 あまり気にしていない	26	55.3%
4 全く気にしていない	0	0.0%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	1	0	1	0	2	4
2	1	3	2	5	3	3	0	17
3	1	3	4	3	3	5	7	26
4	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問5-4 富士宮産であること

選択項目	回答数	構成比
1 かなり気にしている	5	10.6%
2 ある程度気にしている	21	44.7%
3 あまり気にしていない	17	36.2%
4 全く気にしていない	4	8.5%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	0	0	2	1	2	5
2	2	2	3	6	3	3	2	21
3	0	4	4	1	2	3	3	17
4	0	0	0	1	0	1	2	4
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

問5-5 問5-1～5-4で答えた理由を教えてください。（自由記述）

回答 問5-5-2-5-3-5-4	理 由	年代性別
1・2・2・2	産地は安全かどうかを確認してから買うから。	10代女性
1・2・3・2	外国産は値段が安くても安全な国かどうかを気にしている。国内産なら値段が高くてブランド化しているものなら購入する。	10代女性
2・3・3・3	安全面から国内産であることは意識するが、県内産、市内産までは意識が及んでいないから。	20代男性
1・2・3・3	気にしているのは、国産かどうかだけで産地は特に気にしていないから。	20代男性
2・3・2・3	外国産は安い、味・品質が劣る。	20代男性
1・2・2・2	やはり海外産は信用できないからです。	20代女性
2・2・3・3	国内産で有名な産地であれば、安全で美味しいと思っているから。県内産や富士宮産の農産物で、高くても買いたいと思うものは少ないから。	20代女性
1・3・2・2	外国産、国内産かについては、以前 外国産のお肉で調理した際 国内産よりも脂身が多く調理しにくかったことがあったためかなり気にしている。有名な産地かについては、値段が高いものもあるのであまり気にしていない。県内産かについては県内で有名な生産物だったらなるべく県内産を選ぶようにしている。富士宮産かについては、他の産地のものと富士宮産を比べた時に地元で作られているということで意識しながら買い物しているが、それほどこだわりはないから。	20代女性
3・3・3・2	産地など気にする方もいますが名産〇〇産と言われるものとそうでないものの差を味で感じるのが難しいので気にしません。一般市民が気にするのはやはり安さではないでしょうか？	30代男性
2・4・2・3	子供がまだ2歳なので、なるべく国産のものを選んで買っています。	30代男性
2・2・3・3	知名度によるもの。	30代男性
2・2・1・3	できれば地場産のものがよいから。	30代女性
2・4・3・3	他県でも安いものがあればそちらを買ってしまうのであまり気にしない。	30代女性
1・4・2・2	安全安心な物を食べたいと思っています。産地はもちろん、無農薬、減農薬なども気にして見えています。	30代女性
1・2・3・2	安心、安全、おいしいというイメージがあるから。	30代女性
1・2・3・4	特に食べ物においては、中国産だけは避けるようにしている。理由は、中国国内などの食害が話題となる事が多いため。	40代男性
2・3・2・2	産地地消で富士宮がもっと盛んになってほしいから。	40代男性
1・3・3・3	国内産のものであれば産地(県内産・富士宮産)よりも値段で決めてしまうので、気にしていないことのほうが多いです。	40代女性
1・3・2・2	外国産のものは買うことに抵抗があるが、国内産のものならば、安価の方を選んでしまう。同程度の価格であれば、富士宮産を選び購入するようにしている。	40代女性
2・2・3・2	やはり、農産物は外国産だと薬品の使用が心配なため 国産のものをできるだけ選ぶようにしています。	40代女性
1・3・2・2	中国産でなければ、あまり気にしません。日本国内で作られた物であれば大差ないと思います。それよりも値段が高くない方がいいです。	40代女性
2・3・2・2	地元産の物は、やはり鮮度も良いかと感じるの。	40代女性
1・2・2・2	地域での安全性。	40代女性

2・2・3・2	地元産であれば購入意欲も湧く。値段にもよるが…。	50代男性
2・2・3・3	国産品＝安心という思いがあります。県内産、富士宮産は特にこだわらないのですが、逆に近いのでいつでも手に入ると考えてしまい、有名産地品に手が伸びることもあります。ただし、採れたては別です。	50代男性
1・3・3・3	国内産であれば産地に特にこだわりはない。	50代男性
2・2・2・2	その土地に適した環境で、育てているので、米などは、富士宮の物は、美味しいと思えなかった。	50代女性
1・3・2・1	常日頃から産地消費を心掛けているので。産地が近いほうが新鮮でおいしく、価格も安いし、地元の農家さんを応援したいというも思っています。	50代女性
1・2・2・2	なるべく地元の物を食べたいので、見つけたら購入するようにしています。	50代女性
1・3・1・1	野菜やお肉は国産のものしか購入していません。農薬使用や味も合わないため。富士宮産があれば優先して購入していますが、その時に食べたいものを購入しているため産地については、国産であればそれ程気にしていません。北海道産のものは少し気になり購入しています。	50代女性
2・2・2・1	白系コシヒカリを生産者より買い、常食している。	60代男性
2・3・3・2	新鮮で安ければどこだろうとかまわない。	60代男性
1・2・3・3	「食の安全」の観点がトリガーであり、国内産であれば生産者や表示がシッカリしていれば富士宮には特に拘りはない。	60代男性
2・2・3・4	現状、必要な時に必要な物を購入しています。	60代男性
2・3・3・3		60代男性
2・3・3・3	農産物は、ほぼ毎日必要なので、家庭の負担にならぬよう、まず値段です。	60代男性
2・2・2・2	産地は他府県のものでも構わないと思う。	60代女性
1・3・2・2	出来れば、やはり地元の農産物を購入したい。	60代女性
1・1・1・2	新鮮であり、流通経費が掛からないため。	70代以上男性
3・3・3・4	その時々々のニュース等により気にすることもあるが、ほとんど考慮することはない。	70代以上男性
1・3・3・3	スーパーの売り場で県内産のものはほとんどなく、気にしようがない。ただし、福島、茨城等原発事故があった地域の物はできるだけ買わないようにしている。	70代以上男性
1・2・3・1	新鮮さや旬のものであることに気をかけている、特に外国産はどのように生産されているか不明なので避けている、野菜などは食事のメニューを考えて選ぶので産地も考えている。	70代以上男性
1・2・3・3	農産物購入のときの第一条件は、中国産でないことです。どんなに安くても中国産のものは絶対といってもいいぐらい買いません。中国製品には全くの信頼をおいていないからです。国内産ならばそれほどのこだわりはないです。	70代以上男性
1・2・3・4	理由としては、やはり土地の物は、安心・安全であるような気がします。	70代以上男性
1・2・3・2	外国産というイメージがよくない。有名ということは、いろいろな声に対応するとともに、管理も厳しいと思う。県内であることを気にするほどの違いが分からない。生鮮野菜などは新鮮さが求められるので市内産は気にする。	70代以上男性
1・3・3・3	品物を見て食べておいしいかったらまた買う。	70代以上女性
1・2・1・1	収穫して、店頭に出るのが早い。	70代以上女性

●全員に伺います。

※有機農産物とは、一定の基準を満たす有機栽培によって生産された農産物のことを言います。

問6 「有機野菜」など「有機農産物」をいう言葉を知っていますか。（当てはまる

選択項目	回答数	構成比
1 意味を含めて知っている	18	38.3%
2 聞いたことはあるが、詳しくは分からない	27	57.4%
3 知らない	2	4.3%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	2	3	1	2	4	5	18
2	1	4	4	5	5	4	4	27
3	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	2	6	7	8	7	8	9	47

●全員に伺います。

問7 普段の買い物で、「有機」の表示を意識する等、値段や産地以外に特に意識していることがあれば教えてください。（自由記述）

やはり、賞味期限。	10代女性
クレジットカード決済ができるかどうか。	20代男性
野菜に関しては無農薬栽培であることを気にしています。	20代女性
鮮度や、食べられる量であるか。	20代女性
見た目の品質、賞味期限・消費期限。	20代女性
店内広告。POP等数量限定とか期間限定とか。	30代男性
子供がまだ小さいので、なるべく保存料、着色料など添加物が少ない物を選んで買っています。	30代男性
ありません。有機と表示があれば、購入する傾向が強い。	30代男性
味、栄養価。	30代女性
有機、無農薬、持続可能な農業方法かどうか、包装がエコかどうかなど。	30代女性
虫食いがひどくないか傷んでいないか新鮮かどうか。	30代女性
無農薬野菜、遺伝子組換え食品。	40代男性
体に良い野菜のイメージがあります。買ってはみたいなーと思うのですが、無理ですね。	40代女性
地場野菜コーナーを見て自分が欲しい野菜がそこにあればそれを優先的に買う(値段とも相談しながら)新しそうなものを選ぶ。	40代女性
有機野菜という言葉は聞いたことがありますが、実際、どんなものかはわかりません。ただ、なんとなく体にいいもののような気がします。あまり、有機について意識していません。これから勉強しようとおもいます。	40代女性
特に意識していません。有機の表示があればそれなりに良い商品であろうという認識だけです。	40代女性
生で食べる野菜などは、有機農法を選択する機会が多い。	50代男性
鮮度。	50代男性
添加物の多い食品は、避けています。	50代女性
生産者のお名前が表示されているかどうか。無人販売でもなるべく作っている人がわかっているところで購入するように心掛けています。	50代女性
新鮮が一番。あと旬のもので手ごろな値段のものは購入しています。珍しいものや食べたことがないものは、半額やプライスダウンの時に購入し、確かめることはしています。	50代女性
富士山ろく牛乳、水かけ菜、根原大根、ゆで落花生など見かけると手に取ってしまいます。	60代男性
有機農産物は消毒をしないのも原則条件と思っているが、やはり食の安全の観点は外せなく、かなりの拘りをもってこの辺のチェックはしている。	60代男性
産地、有機農産物を気にすればするほどきりが無い。口に入るものだけに気を使うだけでは、我々の食生活の安全は守れない気がする。	60代男性
あまり、意識していません。	60代男性
生産者の名前の記入があるかどうか？	60代女性
安心な食材という認識が高いです。	60代女性
化石燃料で栽培しているものか、旬のものであるか、付加価値を高めるために栽培したものか意識している。	70代以上男性

「有機」は農薬をあまり使わないで、さいばいしたというイメージがあり、できるだけ買うようにしている。お米は銘柄。	70代以上男性
年寄二人での食事なので、調理数も少ないので、安全・安心を優先している。	70代以上男性
健康的だろうし、味もいだろうと想像しますがそれほどこだわって買うこともないです。	70代以上男性
個々の考えから言えば、野菜、その他の食品に対し、中国の製品はあまり買わないようにしています。理由として、有害な添加物が入っているような気がします。	70代以上男性
農薬の使用などを抑えた栽培を意識する。	70代以上男性
色形重さ。	70代以上女性
あまり気にしない。	70代以上女性

次に、「農業に対する参加意識」について伺います。

●全員に伺います。

問8 家庭菜園を行っていますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 自宅で行っている	22	46.8%
2 自宅以外(親戚や知人の土地を借りて)行っている	1	2.1%
3 行っていない	24	51.1%
合計	47	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	4	2	2	4	5	4	22
2	0	0	0	0	0	0	1	1
3	1	4	3	5	4	3	4	24
合計	2	8	5	7	8	8	9	47

問9 次のうち参加してみたいイベント・制度はありますか。（当てはまるもの全て）

選択項目	回答数	構成比
1 親子向けの体験講座(田植え・酪農など)	11	23.4%
2 プロから学ぶ野菜の作り方などの農業学習講座	15	31.9%
3 農産物の直売イベント	32	68.1%
4 食の出店が楽しめるお祭り	32	68.1%
5 畑が借りられる市民農園	6	12.8%
合計	96	—

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	1	5	2	2	0	0	11
2	1	1	2	0	3	5	3	15
3	1	4	5	5	7	5	5	32
4	2	6	5	6	6	3	4	32
5	0	1	2	0	1	1	1	6
合計	5	13	19	13	19	14	13	96

●全員に伺います。

問10 農業に触れる機会として「こんな催しがあったらいいな」というアイディアがありましたら教えてください。（自由記述）

実際、農家で農業体験をし、その野菜での料理を食べる。	10代女性
収穫体験をして、その後料理する。	10代女性
試食会。	20代男性
野菜摘み体験。	20代男性
野菜等を栽培、収穫を体験し、プロの料理家やシェフによる地元食材を使った家庭でも作れる料理講座があれば富士宮焼きそば以外でも売りになるものが作れるのではないかと思います。	20代女性
野菜採り放題、野菜を使ったフードコンテスト、農作物としてその場で食す大会。	30代男性
先日初めて芝川の竹の子祭りに行ってきました。竹の子を販売する奥で、農家の方が竹の子を収穫していました。せっかくなら、竹の子の収穫体験&取った物を購入みたくしたらどうかと思いました。子供の頃伊豆でやったことがあり、地面からちょっと出てる竹の子を見つけて掘り出した時の感動は今でも憶えています。また、意外とキノコが生えているところを見たことがある人は少ないので、富士宮には有名なマッシュルーム農家さんもいるので、農場見学&収穫体験みたいなことができれば面白いと思いました。	30代男性
農家の方からの害虫及び病気などの対策講座。	30代男性
農作業着や小物などの展示販売。	30代女性
子供が動物や土(自然)に触れられ遊べる。	30代女性

自分で収穫した野菜等を料理して食べる催し(例 さつまいも収穫と焼き芋体験、植えから収穫まで成長過程も体験できるもの(山形県川西町の紅大豆オーナー制のようなもの))。規格外品を安く購入できる催し。	30代女性
こどもと食育について学べる体験型イベント。	30代女性
農業婚活触れ合いイベント。	40代男性
特になのですが、宮踊りや秋祭りを利用してアピールした方がいいと思う。秋祭りの日本酒の升酒イベントは市内の人より市外や県外の人が多く感じる。	40代男性
子どもと一緒に体験できるイベントは楽しいかもしれません。野菜の苗を植えて育てて収穫して料理して食べるイベント、田植えをして収穫して精米して炊いて食べるイベント。	40代女性
小さいお子さんなどは、大型農業機械の試乗(田植え機、コンバイン、トラクターなど)。地場野菜で作った飲食物を提供するおまつりのようなもの、稲わらなどを使ったソース作り・クイズ大会などの参加型の企画。	40代女性
富士宮市で生産した野菜、お肉、牛乳、焼きそばなどを調理して販売するお祭りのような催しがあればいいなと思います。	40代女性
実際、農業をするのは大変なので、農業に興味を持つという点では、生産者の声や生産者の方と触れ合える販売イベントがあると良いと考えます。	40代女性
農家の方々からの情報収集の場所があったら有難いなと思います。家庭菜園での、アドバンス等。	40代女性
田植え。身内で農家がない家庭では携わることができない。今小学生は体験があるが親(大人30代、40代?)は体験したことがないひといるので呼びかけて体験してみたい。	40代女性
花壇、プランターでも簡単に出来る家庭菜園。	50代男性
植えつけ体験・かりもの体験・その場で食べられるのもいいですね。	50代男性
直売所での販売。	50代男性
地域ごとに参加出来るイベント。横の繋がりが出来る収穫祭などがあると、いいのではないかと。	50代女性
農産物の加工体験(例:みそ作り・豆餅作り・干し柿作りなど)、援農ボランティア。	50代女性
自分達で収穫した野菜を使って、キャンプやバーベキューや料理教室(お菓子・パン含む)。	50代女性
田植体験、牛や馬のお世話体験・宿泊付、収穫の手伝いから販売体験(野菜や牛乳、ミカン、スイカなど富士川楽座等で)、収穫野菜を利用し調理やバーベキュー大会、日中農業のお手伝い、夜はバーベキューとキャンプファイヤーテントで就寝。	50代女性
富士宮の食材を使った料理を生産者と一緒に食べながらおいしい食べ方を教わったり、こういう野菜がほしいなどの話し合いができる機会があるとよい。	60代男性
定年退職を機会に、これからは農業に思いを持って取り組みたいと思っている。しかし、農業用地が狭く、連作障害の防止や害虫の防ぎ方(無農薬で)、収穫後の茎の処分方法などを座学でなく実際に見て体験するイベントがあればぜひ参加してみたい。	60代男性
単身の上、就業中の為に休日は休養にあてたり他の用事のため中々出来ない。	60代男性
家庭菜園で採れた野菜など、食べきれないものを、安く売る規格として、野菜のフリーマーケットは、どうでしょうか。	60代男性
すでに農産物市場等で売られているので特別な催しは必要ないです。	60代女性
いつも同じ場所ではなく、あまりイベントをしていない所でも地域生産者の方々の直売があると嬉しい。	60代女性
自分の食べたいものたとえばスイカ等季節に応じたものを広い土地で作ってできたものを作業者で分ける。	70代女性
HB101の効用等農薬による身体の影響および防除について。	70代男性
休耕田を必要な人、希望する人に使ってもらおう、市が仲立ちをする。	70代男性
自分の実家は農家なので、時々野菜を送ってくれる。地元の農家と契約して、その時期の野菜を手に入る機会を作ったらいいと思う。杉田農協では、落花生祭りなど実施している。近くなのでいつでも参加しているが、各地区でも行ってはどうか。最新のITを使用した農家の見学やNHKで放送された朝霧の乳牛生産者の見学などもいいと思う。	70代男性
家庭菜園も妻が全て行っており、自分は食べるだけ。野菜や果物は好きですが自分から農業に触れたり参加したいとはそれ程強く思はないので特別にはありません。しいていえば、新鮮野菜を利用したグルメのイベント開催です。	70代男性
一般市民も農業を体験できる機会があればいいと思います。農業の大切さをもっとアピールできる機会を作ったらいいと思います。	70代男性
区内で栽培をしている方に子供たちなどを招いて土とのふれあいをさせていただけるとありがたい。	70代男性

●全員に伺います。

問11 富士宮市の農業について、ご意見・ご提案がありましたら、記入してください。自由記述)

より多くの情報がほしい。	10代女性
小規模農家が多く効率が悪いので、農協を中心にして、大規模でコスト削減をして生き残りをしないといけない。	10代女性
このまま、地産地消を推して、他県に自慢できる農作物がどんどん出てきてほしい。甘久娘みたいなやつ。	20代男性
地産地消を地元の買い手の方々にもっと勧めるチラシや催し物をやっていたらと思います。	20代女性
うみやーなはとてもよい企画で続けてほしいです。農業に対しては、生産者が増えるようなメリットがない(わからない)ので、生産者に対して、何らかの還元があったらさかんになるのではないのでしょうか?農業のパートタイム等、求人が増えるのがよいが、求人できるほど儲からない。富士宮が農業の街になるには、「名産物」が不可欠な気がします。	30代男性
先日埼玉の道の駅はなぞのに行ってきました。産直野菜の売り場面積もさることながら、値段も野菜の質、量も凄く魅力的でした。富士宮にも、建物も駐車場も立派なう宮ーながありますが、売り場が良くも悪くも整然としているイメージがあります。例えばコストコやドンキホーテのように、商品を探す楽しみを味わって貰うためにわざと雑然と置いたり、山積みにしても面白いかと思ひます。多くの人は普通の野菜はスーパーで買うので、いっそ規格外や生産量の少ない野菜に特化してもいいと思ひます。また、超大袋でB級品を格安で販売したり、目玉商品を数量限定で用意して話題性を提供すれば、今はSNSなどで勝手に口コミで広がって行くので、ひいては富士宮野菜の宣伝になると思ひます。	30代男性
テレビ等で、積極的に広報することが一番効果があると思ひます。	30代男性
市内のどのあたりで農業が行われているのか。保育園でも農業体験ができる機会を設定できないか。	30代女性
富士宮に引っ越しが決まった時、ウェブで検索してみたところ、富士宮に有機野菜や無農薬野菜などを作っている農家さんが多くいることを知りました。食の事を考えた時、長期的にみて、私は持続可能な農業、多様性のある農業が望ましいと思ひています。農業の基本、土と水と空気を汚すやり方は、のちのち自分(後継者)の首を絞めることになるはずで、豊かで綺麗な自然環境を守ることが、人が生きる環境を守ること、世界遺産富士山を始め、富士宮全体の自然環境を守ることにつながると思ひます。そしてなによりも、健全な自然環境、安心安全な食べ物で人は心身健康でいられると思ひます。なので、有機野菜、無農薬野菜をもっと手軽に身近に感じられたらいいなと思ひています。学校給食や、幼稚園、保育園の給食に積極的に利用したり、直売所以外のスーパーでも買えたらいいなと思ひます。また、直売所では季節の旬の野菜が買えますが、今どんな野菜がお店に並んでいるのか知りたひです。今月お店に並ぶ野菜はこんな物がありますよ、と回覧板や、幼稚園、保育園、小学校等でチラシを配ってもらえたら食育にも繋がるのではないのでしょうか。また、地元産の農産物や加工品だけを取り扱う、宅配サービスなども面白いかと思ひます(京都府舞鶴市で無農薬で野菜やお米、養鶏を営んでいる個人の農家さんが中心になり実践していました。卵やお肉、季節の野菜セット、お米、安心安全な食べ物を使って作った加工品、天然酵母パンなどを宅配していただき、その土地の旬の野菜を味わえました。)	30代女性
近所で農家をしている方をみると、手間暇かけて大事に野菜を作っている姿をみかけます。うみやーなに行くときとたくさん地元の野菜があり、買うときにそんなことを思ひ出します。	30代女性
人口減少や高齢化に伴う担い手不足は農業においても深刻な問題である。そこで、耕作放棄地や農業生産性の向上をいかにして推進できるかが課題になる。解決策としては、農業生産のIT化を活用する。具体的には、耕作放棄地等の農地を集約しGPSやAIを利用した無人農業機械を導入する。農機具メーカーのヤンマーや井関農機は無人トラクターの開発に取り組んでおり、農業散布にはドローンを活用する等、全プロセスにおいて無人化生産できることを目標に、全国に先駆けて富士宮市が自動化生産のモデル地区として発信することができれば注目されると思ひます。	40代男性
少し前に知ったのですが、村山人参というのがあるんですね。2月に行われたお茶グランプリの時に女性部の人たちが村山人参を使ってんぷらを作ってくれたのを食べました。甘くてとてもおいしかったです。私はこの時まで、村山人参の存在を知りませんでした。まだまだ知らないものがあると思ひるので、いろいろ発信してほしいです。	40代女性
う宮あ~なのような地場野菜などを打っているお店がもう少し増えたらいいな。	40代女性
PR不足、豊かな自然を利用してとても良いものを作っているのに市民や静岡県に対してPRがされていない。PRが少ない。	40代女性
こんな物を地元で栽培しています的な情報を、広報等で紹介していただきたいです。	40代女性
牛乳、ヨーグルト、焼きそば、アメリマトマトなど。地域の人知らない特産品をもっと知ってもらえる場を作ったほうが良いと思ひます。地元の人を作っているも都会にでてどのくらいの値段、価値で食されているかを知らないことが多い。都内の方のほうが品名で知っていて地元の人知らないことがあったので。	40代女性

今の70歳代の方々は、兼業農家として富士宮の農業を支えてきました。その後継ぎとなる50歳から40歳代は兼業を嫌い、農地を手放すか休耕地として農業は行われておりません。勿論、次の世代にも農業を担わせるのは難しいと思われます。一番の難点は収入です。農業だけで生活を担えるのであれば、次の世代の方々も目を向けてくれると思います。富士宮市でのプランニングとマーケティングの手助けがあればと思います。もし、現存していたのであれば、私が無知でした。すみません。	50代男性
正直、周辺の田んぼや畑が気が付けば宅地になっていることが最近多く見かけられます。食まで外国に頼るのは賛成しかねるのですが、逆に富士宮で起きている農業事業を知る機会があってもいいかと考えます。	50代男性
農業が盛んな土地なので今後も継続できるような施策をしてほしい。	50代男性
先日、河口湖のハーブフェスティバルに出かけて来ましたが、富士宮にもその様なところがあったから、良いなと思いました。	50代女性
富士宮市は温暖な気候ときれいな水に恵まれており、農産物の種類が豊富で、年間を通して何かしらの野菜の果物がとれる素晴らしいところだと思います。農産物をそのまま販売する以外にも素材の良さを生かした加工食品ももっと種類を増やして販売していただけたら嬉しいです。	50代女性
地元の野菜をもっと気軽にスーパーで買える様になって欲しい。 里帰りで関東圏に行くと、此方よりも沢山出回っていたりします。 農家さんの生活もあるので、一概には言えないのですが…。	50代女性
おいしいお米や野菜、肉屋乳製品などが食べられるレストランなど、増えたらもっと活気づくのかと思います。テレビで紹介してもらえたらいいかと思います。青空レストランなど 期待しています。	50代女性
春のフキ・タラの芽などの山菜・夏のトマト・ナス・きゅうり、秋の柿・とうもろこしなど季節ごとに広報ふじのみや・ネットなどで配信し、販路を拡大したい。	60代男性
フードバレーとは聞かぬが、実際富士宮市は何が特産かわかりません。富士宮市が何を勧めてくれているのか全く知りません。(分かりません)	60代男性
富士宮ばかりではなく全国的とは思っているが。 耕作放棄地に代表される「後継者」問題は今後、特に農業には益々暗い影を落とすのではと思っています、行政(国)がこれをどう取り組むのかを真剣に発信していかないと補助金を出せばとか、一部のボランティア活動での耕作放棄地の改善では砂漠化は防げないのでは。	60代男性
折角、文化遺産もあり最近では観光客も増えているので内外にアピールする意味で街全体でお迎えするような大きなイベントがあっても楽しいかと思えます。	60代男性
昔から農業が人の暮らしと文化にまで及ぼす力は大きいと感じる。	60代男性
富士宮は、水、気候、土地など恵まれています、全国的に、富士宮の特産品と聞かれたら即答出来ません、なにか目玉になる農産物が欲しいです。	60代男性
産地直送ということで新鮮でありがたい(消費者としては、スーパー等の値段より少々高い気がする)。	60代女性
後継者がいない茶畑などが手付かずになってしまうとすぐに雑草が生えてそこから種が飛び新たに雑草畑が増える悪循環になっているのを見ると 素人考えですが、果物などの生産の誘致が出来ないものかと思ってしまう。	60代女性
遊休農地を活用して市民農園等に余暇活用すること、農業に関心を持ち、新規農業に参入する機会を作ること。	70代以上男性
世代交代のたびに専業農家が減っていくような気がします。ウォーキング(自宅からソフトボール場付近)には、野菜類より食物外が目立つようだ。	70代以上男性
休耕地が多くさみしい限りです。後継者がいないとか採算がとれないとかの問題があると思いますが、今後食料自給率を上げていくことは大切なことで、行政が積極的に役割を果たすことが大切です。難しいかもしれませんが、今後、①農耕地を集約化して会社組織にする。②野菜工場を作る。③「これぞ富士宮市の野菜、果物」といったものを育成する(山梨を見てください)。④新鮮で美味しい安全安心な野菜を作ってアピールし、スーパーの売り場面積を多くするようスーパー、流通業者を競合関係を作り上げる(現在、スーパーには地場産がほとんどない)。⑤行政が大きな視点、長期的なビジョンに基づいて積極的に取り組む本腰を据えて取り組むことが必要。	70代以上男性
全国的に有名なこれといったものがないような気がします。しかし、秋のゆで落花生は最初見たときは驚きでした(関西の出身なものですから)。今ではそのおいしさにはまっています。ゆで落花生を全国的ブランドにしたいものです。	70代以上男性
農業従事者の平均年齢は65歳を超えるといわれる。なんといっても農業の担い手の確保が喫緊の課題だと思う。借地という条件はあるが、企業の農業参入の規制が緩和されたなかで、JAと市とともに、企業がより参入しやすい方策を詰める必要がある。	70代以上男性
私の実家も農業をやっているが、自分は農家に嫁に行きたくなかった。本当に大変です。子供のころ、手伝ったり…亡き父母達を見て思えます。	70代以上女性